

R8.1.19 開催 推薦入学者選抜 面接対策講座 質疑応答

Q1. 面接時間は一人何分くらいですか？

A. 面接時間はおおむね 10 分程度を想定しています。

Q2. 面接官は何名ですか？

A. 昨年度は面接官 2 名で実施しました。今年度も同様の体制となる可能性が高いです。

Q3. 面接で大切とされる「マッチング」とは、何を意味しますか？

A. マッチングとは、本校の教育方針や特色（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、グラデュエーションポリシーなどのスクールポリシー、学校経営方針、ニセコ町での学び）と、受検生が本校で学びたいこと・挑戦したいことが結び付いているかを確認することです。

「育みたい資質・能力」だけでなく、学校全体の教育理念との関連性を意識して答えることが重要です。

Q4. 1つの質問に対して、どのくらいの長さで答えると良いですか？

A. 目安は 1 分以内程度かと思います。長く話したい返答内容がある場合でも 2 分を超えないくらいを意識してください。回答の長さよりも、内容が具体的で分かりやすいことが大切です。

Q5. マッチングで重要となる質問以外に、準備しておくとよい質問例はありますか？

A. 今回の講座で示した質問が、実際の面接でも中心的な質問だと思ってください。それ以外には、「中学校で頑張ったこと」などの一般的な質問が想定されます。その際は、過去の成果の PR だけでなく、それを高校でどう生かしたいかを伝える未来志向的回答を心がけてください。

Q6. 面接官が回答内容を深掘りして質問することはありますか？

A. 「もう少し具体的に聞くことで、伝えたいことがよくわかるのではないか」と判断した場合、追加質問を行うことがあります。

Q7. 質間に答えられなかった場合、合格の可能性は下がりますか？

A. 無回答の場合、その質問には得点をつけることができないため、面接点が下がる要因になります。今回の面接対策講座の資料や学校のホームページに示されている内容について、事前に自分の言葉で答えられるよう準備することが大切です。

Q8. 面接は一人ずつ行われますか？

A. はい、受検生1名ずつ入室して面接を行います。

Q9. 受験生によって質問数が違い、不公平になることはありませんか？

A. 基本的に同じ質問を行う方針です。回答の長短によっては面接時間に多少の差は生じるかもしれません、不公平が生じないように配慮しています。

Q10. 学びの特色である「国際教育」と「起業家教育」の両方について、どちらか一方よりも、両方について答えられる方が望ましいですか？

A. 本校では、この二つの教育を、国際的な視野を持ちながら地域や社会の課題を見つけ、解決策を考える学びとして一体的に進めています。

そのため、両方を結び付けた考え方で答えられると、本校の教育方針への理解がより伝わります。

Q11. 成績や評定ランクが低い場合、不利になりますか？

A. 中学校の個人調査書、自己推薦書、面接結果を総合的に評価します。もちろん中学校の成績が高い方がよいですが、中学校の成績のみで合否が決まるわけではありません。

Q12. 不登校経験がある場合、どのように対応していますか？

A. 成績が空欄であったり極端に低かったりする事情も踏まえて選抜を行なっています。過去には、不登校経験のある生徒が合格し、入学後に活躍している例もあります。面接で高校での学びの意欲や挑戦したいことをしっかりと伝えられるように準備してください。
